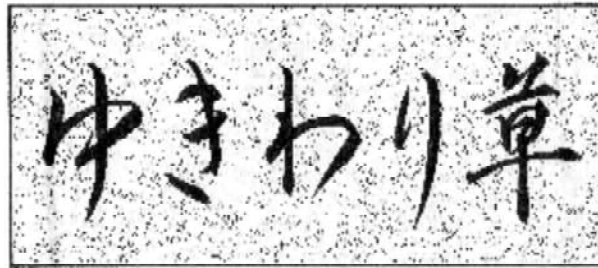


○私達は、地域の人々の命と健康を守ります。  
 ○私達は、健康なまちづくりをめざします。  
 医療や福祉に関する困りごとなど気軽にご相談下さい。



NO. 104  
 2021年1月1日号  
 発行 舞鶴健康友の会  
 舞鶴市上安199-30  
 TEL 0773 78 3201  
 FAX 0773-78-3202  
 発行責任者 迫田 薫



まいづる協立診療所  
 所長 高塚 光二郎

草の根運動、微力であるも無力ではない



昨年はコロナ禍であけコロナ禍でくれた年でした。残念ながら今年も続きそうです。

人類は天然痘をはじめ、ペスト、チフス、スペイン風邪等様々な感染症と闘い克服した経験を持っています。近いうちに新型コロナウイルスの治療薬、ワクチンが開発され、平穏で平凡な日常生活がもどってくと確信しています。たとえ今がどん底の状態になろうとも希望を持ちましょう。

コロナ禍で心配なのは感染被害だけではなく、経済抑制による貧困、生活苦が弱者にのしかかっていることです。今こそ医療、福祉の充実を求めていかねばなりません。

診療所は健康友の会と共同して皆様の命と暮らしを守る砦として皆様の相談のり、役割を果たしてゆきます。

今年も訴えます。「草の根運動、微力であるも無力ではない」

今年も宜しくお願い申し上げます。

みんながつながる友の会に

舞鶴健康友の会

会長 迫田 薫

今年は、みんなが笑顔でおしゃべりを楽しめる年になるといいですね。コロナで何もできなかった昨年を思い出話にできる年にしたいものです。

昨年は月間(10月~11月)でたくさん仲間を迎えました。今、できない行事が多いのですが、コロナを恐れるのではなく正しい知識で感染に注意して、みんながつながる友の会をつくりたいと思っています。知恵を貸してください。ゆきわり草の紙面を交流の場にすゝめるのも一つかなと思います。みなさんの投稿を待っています。



# コロナ第3波 家庭内感染急増!!

## 【中高年・無症状の比率増加!!】

### 病気になる・うつさないため 気をつけること

#### \*濃厚接触を避ける

「濃厚接触」とは「マスクなしで対面し、2m以内で、15分以上話す」ことです。家の中でも、動線を外すなど、動く場所を変えれば避けることができます。

#### \*マスクの着用

##### こまめな手洗いを心掛ける

密な部屋や人が集まる場所でのマスクの着用、帰宅時やトイレの後、食事の前のこまめな手洗いを心掛けましょう。(手洗いは石鹸を使って、指の間やすみずみまで洗うこと。)

#### \*毎日の生活では

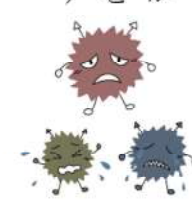
こまめに換気、1時間毎に5分~10分の換気「過剰になりすぎないように継続できること」「必要な対策が必要な場面でできること」が大切です。生活のリズム、睡眠、バランスの良い食事、家でできるストレッチなどの運動など、ストレスをためない自分なりの工夫を考えましょう。



加 家庭内感染・無症状者が増加  
クラスターの発生場所も繁華街だけでなく、職場や学校の寮など多様化しました。

た。家庭内での感染も急増しており、経済活動の再開や会食の機会の増加が家庭内感染の増加につながっています。政府がイベント制限緩和やGOTO事業を打ち出し人の流れが活性化することも、高齢者の感染拡大や重症者の増加に拍車をかけています。

一人ひとりの感染対策が最も重要  
その中で私たちが出来ることは、一人ひとりが感染対策をしっかりすることです。感染経路の中心は飛沫感染(くしゃみ・咳・唾液によりウイルスを吸い込む)と接触感染(ウイルスが付いた手で触ったものを他人が触ること)です。三密(密閉・密集・密接)の場所に気をつけましょう。



診療所職員における  
新型コロナウイルス  
感染者の発生  
について

昨年12月6日、診療所の職員1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明、7日に、当該職員と濃厚接触であった職員1名の感染も判明しました。

保健所の指導に基づき対応を行い、患者様、関係者及び職員にPCR検査を行った結果、全員陰性であることを8日に確認いたしました。

この間、皆様にはご心配とご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。引き続き、保健所の指導の下、感染拡大防止に全力で努めてまいります。

まいづる協立診療所  
所長 高塚光二郎



# 一片の文書での通知もなし

皆様の御力添いを頂き、舞鶴喜多地区に計画されていたパーム油火力発電所は中止になりました。しかし、今になっても事業質的事業者である日立造船からも、事業を推進した舞鶴市からも喜多地区環境保全委員会に対して、一片の文書での通知はありません。

6月13日に、喜多地区環境保全委員会、日立造船、舞鶴市の3者による公開協議がありました。その場で環境保全委員会から市が出していたバイオマス発電所の建設計画についての説明資料の内容について、間違いや疑問な点を書面にして渡しておりました。

# 何とでも言える中止後の回答

これらについての回答があったのは、中止が決まって2か月ほどたった9月3日。市議会の始まる直前です。確かに疑問点など全項目について答えてはあったが、その内容は疑問点に十分に答えたものではありません。

例えば、騒音の影響の予測値が環境基本法の定める夜間の基準値を超えている点については、「市としては越えることを無視したわけではなく、さらなる騒音低減策を検討していた」との事ですが、中止と決めた後では何とでもいえる事です。

しかし、市長が「環境基本法の基準値を舞鶴市は守る」と言ったことは重要なことで、幹線道路に面した区域で夜間の騒音

## 市長さん、なぜ説明会に来なかつたの？

「住民からの疑問点はすべて項目で答えている」と大見得を切りましたが、市長は回答内容を見られたのでしょうか。確かに項目ごとに回答してくれています。が中身はいい加減なものですよ。市民の環境と健康を守ると言うのであれば、もう少し真剣に、かつ真面目に検討していただき、しっかりと論理的に説明してほしいと切に願います。

「住民からの疑問点が出なかった」質問に対して、「住民から要請がなかったから」と答弁しましたが、三者公開協議の議事録で、住民が事前に市長要請をしていたことが載っており、市民からの要請があったことを否定できず、「組織として市長に報告していない」と答えざるを得ない始末。

まるで都合悪いことを秘書のせいにする政治家と同様です。

を体感し生の声を聴き、判断することと言われまます。決して他人から言われて現場へ行くものではなく自ら赴くもののはずです。その反対語が机上主義です。

「現場主義」はどいふ？  
市長が常々言っている「現場主義」が組織に徹底されていたらそんなこととはいいはざす。現場主義とは、何なのでしようか？一般的に現場主義とは、部下などの報告だけでなく、問題が起こっている現場に出て行って、その場所の環境・雰囲気

(齋藤)



### 親玉は全部整ってから出るもの

毎日新聞によると、定例記者会見で市長は「事業は途中段階で、親玉は全部整ってから出るものだ。組織とはそういうものだ」と発言したとの事。これは正に机上主義であることを自ら吐露したものです。10回以上もあつた地元説明会に一度も顔すら出さずに現場主義と標榜する赤ひげ市長はどこに行つたのでしょうか。

# 市民の暮らし無視に「三値上げ」

## 反対請願が否決

ゴミ処理費用の値上げは9月の議会で決まりました。反対する請願も出しました。反対する請願も出しました。反対する請願も出しました。

## 市に対する不信が積もる

市に反対する不信が積もる。値上げは決まったのですが、市民への説明会は始まらないし、計画も示されません。値上げさえ決めればいいといわんばかりのやり方に、だまされたみたいな後味の悪さを感じます。こうして市に対する不信が積もっていくのだと思います。

(S)

## 老朽原発の

## 再稼働中止を！

大飯原発の設置許可取り消しの判決が出るなど、原発をめぐる動きから目が離せません。

もう一つの焦点は、動

は逆だ。

加えて議会において提

案している内容と異なる市長の発言が問題となりました。

値上げは決まったので

すが、市民への説明会は始まらないし、計画も示されません。値上げさえ

決めればいいといわんばかりのやり方に、だまされたみたいな後味の悪さ

を感じます。こうして市に対する不信が積もって

(S)

を決め、例外として電力不足の場合など1回限り20年の延長ができること決めました。このルールは、民主党政権の時に決められたのですが、自民党政権に変わって20年の延長は例外ではなく、当然のようにされてきました。

電力は不足していませんが、2016年高浜原発1・2号機は20年の延長が認められました。

市民の思いを請願書で  
12月2日に府下の自治体関係者などが高浜原発を視察、6日には再稼働に向けて住民説明会が行われました。行政や議員と自治会長などが参加して行われ、市長は1月に態度を決めると表明しています。

私達は、11月30日市長と市議会議長に、再稼働の中止を表明することを求めた要請書を提出しました。12月3日には同様の趣旨で市議会に請願書

を提出しました。他にも再稼働容認を求める請願も出しました。12月22日の市議会委員会ではこの二つの請願が審議されます。

## こんなに危険な老朽原発

関西電力は40年を超えても、定期検査でほとんどの配管やケーブルは新品に交換しているから安全だと説明しています。

しかし高い放射線汚染のために、原子炉も、中の配管も交換できません。40年間、中性子と高温高圧にさらされ続けた原子炉や、配管はいつ破断するかわからないと危険性が指摘され、原子炉の安全性を現在の科学では評価できないといっています。

延長を決めた2016年以降、高浜原発では、当時想定されなかった事故が発生しています。要するに40年超えた原発はきわめて危険だということです。加えて今のコロナ禍のもとでは、三密を

守って避難などできないわけ、事故が起これば放射

線被曝と新型コロナウイルスの感染にさらされます。だから40年を超えた老朽原発の再稼働は、認められません。

## 舞鶴をゴーストタウンにしないために

高浜原発で放射能漏れ事故が発生すれば、すべての市域が30キロ圏内の舞鶴市は、全市民に避難が求められます。すべての市街地が人の住めないゴーストタウンになります。事故から10年たった福島では、今も4万人を超える人たちが避難したままです。

そんな舞鶴にしないためには、40年を超えた高浜原発1・2号機の再稼働をやめさせるよりありません。

(迫田)





# 私たちの願いは文庫山の存続

文庫山の署名活動にご協力頂きありがとうございます。これはその5倍以上の数です。

日頃、署名などしたことの無い高齢者が頑張った成果だと思つと同時に、署名活動の中で、よく耳にした現市長への不満や不信が拍車をかけているのではと思われれる事です。

## 市の高齢者1割以上の署名数

舞鶴市の高齢者は約25000人。その1割以上の数が集まりました。聞くところによると普通の署名は多くて500筆。



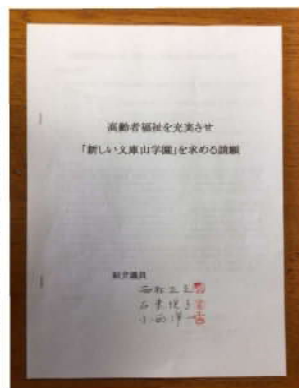
「ドクターTのひとりごと」に始まり、パーム油発電所問題、相次ぐ公共料金の値上げなど現市長への不満や不信が潜在して署名協力の原動力になっているのではと思われれる事です。

例えば、パーム油発電所候補地周辺の住民が積極的に署名活動に協力してくださいました。また「ドクターTのひとりごと」問題で異議を唱えた社長さんがおられる会社ではとても協力的でした。

さらには地域の老人会で回覧して集めてくださったところもありました。

## 大きな成果が

そんな大きな世論が、老人会の利用は無料、高齢者の利用は無料、高齢者が5人以上で利用する場合は3分の1減額されるという成果が出てきました。しかし、そんな事



で私たち利用者は満足している訳ではありません。あくまでも私たちの願いは現文庫山の存続であり、やむなく移転しなければならぬ場合は利用料無料、パドミントンのできる体育館の増設、お風呂、マッサージ室、倉庫の確保など署名用紙に記載している要望事項の実現です。私たちは12月市議会後も引き続き活動していきますので更なるお力添えをよろしく願います。(村尾)

## あなたもピースカフェで

## おしゃべりを

昨年の健康友の会は、コロナでほとんどの行事が中止になりました。実施できたのは、世話人会と一人暮らし老人の安否訪問、ピースカフェの三つだけです。ピースカフェは、「三密」が守れないほどたくさんのおみなさんが集まることはできません。そのため、参加は申し込み制にしています。ビラは発行してありますが、診療所と友の会事務所のカウンター、掲小板に貼りだしてあります。毎回10人程度の少人数で

毎月のテーマは、「コロナとインフルエンザ」(10月)、「文庫山学園の廃止」(11月)、中止にはなりませんが「再びゴミの値上げ」(12月)と地域の焦点となつていふことが取り上げ、お菓子を食べて「コーヒー」を飲んでおしゃべりを楽しんでいます。時間は1時間半。本紙では文庫山学園の廃止とゴミ問題を取り上げてみました。





「語り合い、寄り添い合い、支え合う」事業所

ふれあいステーションゆきわり

所長 辻 智恵



新年明けましておめでとうございます。昨年8月、西尾前所長に代わりステーションの所長に就任させていただきましてです。

昨年を振り返れば、新型コロナウイルスの感染拡大により私たちの日常は一変しました。

遠くに住む家族とも会えず、入院、入所中の家族との面会制限で、寂しい思いをされた方も多くおられると思います。新型コロナウイルスは一つの災害と言われています。その中で他の災害と異なる事は

「先の見えない不安」「語り合えない不安」がより不安を強めていると言われています。皆で集まって顔を見て食事を楽しんだり何気ない会話をすることが、いかに心と体の安定に繋がっていたかを改めて実感した一年となりました。

今後は新型コロナウイルスの感染を正しく恐れ、共存しながら、患者様やご家族様、多職種の支援者と「語り合い」「寄り添い合い」「支え合う」3つの「合う」に取り組み、住み慣れた地域で皆さまが安心して生活できることを支える事業所として、スタッフ一同、頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。



より異動してきました、事務の玉井齋と申します。福知山市出身で、大学生のときは京都市に住んでいました。舞鶴のことはまだわかりませんが、この異動を機に知っていききたいと思っております。今後新

型コロナが落ち着いて、地域の皆さんとお話してきめるようになることを楽しみにしています。まいづる協立診療所に慣れるまでは戸惑うことも多く、ご迷惑をおかけするかもしれないですが、あたたかく見守っていただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

俳句

独楽回し昭和も遠くなりけり  
村人の浜で貝掘る二日かな  
元旦はまず新世界シンフォニー  
齋藤裕靖

異動のごあいさつ

玉井 齋  
12月にふくち  
やま協立診療所

初夢に今も厳しき祖母が居て  
初包丁三つ葉の香り椀に添え  
饗銭の音晴れがまし冬の朝  
河合紀代子



舞鶴健康友の会だより「ゆきわり草」バックナンバーが見れます

下の、QRコードを読んでいただくと、「まいづる協立診療所」のホームページが開きます。その中の、「健康友の会」の「詳しくはこちら」を開いていただくと、「ゆきわり草」のバックナンバーが掲載されています。



ぜひ、お読みください。

編集後記

◆コロナ禍の中、医療現場や福祉現場は、大変なことになっていく。「国が本来手当てすべきところを、職員が使命感だけで補っている。まるで、国がネグレクトをしているようなものだ」と、ある施設長の言として書いてあった。一人一人がしなくてはならない自助はしつづけている。今こそ手厚い公助が必要なのではないか。◆我が家の年始年末は、どのようにならぬかと悩んでいる。◆大阪、東京圏内に住んでいる子どもが帰省し、舞鶴で新年を迎えられているのか、これを書いている時点では、まだ決まっていない…。皆さん、いい新年を！（HS）